

●女子大生

リボンムーブメント

子宮頸がんは、「予防できるがん」です！

「女子大生リボンムーブメント」は、子宮頸がんを啓発する女子大生グループの名前です。がんの予防・検診を、女子大生自身が自分たちの問題としてとらえ、まず自らが学び、学んだことを同世代、そして次の世代に「語り手」として伝えていきます。

1月28日、(財)日本対がん協会広報担当の小西宏氏とリボンムーブメントの学生が、当町を啓発活動で訪れました。会派大空、ネットワーク三芳、そして富士見市から金子議員、八子議員も参加しました。

★子宮がんとはどう違うの？

★子宮頸がんは予防できるがんなのです！まずは子宮がん検診を受けてみましょう！

子宮頸がんは、ワクチン接種と1〜2年に一度の定期的な子宮がん検診の受診で予防が可能です。

日本では子宮がん検診の受診率は20%を下回りますが、欧米諸国では子宮頸がん検診は非常に一般的で、その受診率は約80%と非常に高く、そのため日本に比べて子宮頸がんの発症率は低くなっています。



(財)日本対がん協会
広報担当 小西宏氏

子宮の入り口付近、「子宮頸部(しきゅうけいぶ)」にできるがんを、「子宮頸がん」といい、子宮の奥、赤ちゃんが育つところの「子宮体部」にできるがんを、「子宮がん」と呼びます。子宮がんとはこの2種類のことを主にいいます。日本では毎年約12000人が子宮頸がんと診断されており、毎年約3500人の女性がこの病気で命を落としています。特に20〜30歳代における発症率は、近年増加しており、この年代の女性では、

全てのがんの中で最も発症率の高いがんです。

★何が原因？

子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染です。主に性交渉によって感染しますが、特別な人だけに感染するのではなく、HPVは

ます。各自自治体では、「20歳以上の女性を対象」に、2年に1回の受診間隔」で子宮がん検診を実施しています。20歳になったら子宮がん検診を是非受けてください。

また特に子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチンも昨年、10月に承認されました。志木市では、埼玉県で初めて児童生徒向けの子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を4月から全額補助する事業を始めました。本来は、国で補助すべき事業だと思えますが、発症の低年齢化を考慮していることであり、他県でもこうした動きがみられます。



志木市補助の記事

誰にでも感染する可能性があります。ただし、感染した人の全てががんを発症するわけではなく、感染したとしてもほとんどの場合は体外に排除されます。しかし、感染が持続すると前がん病変(がん)に進行する前の細胞の変化)を経て、がんを発症することもあります。



リボンムーブメントの女子大生と
富士見市、金子議員、八子議員も参加

●三芳ハイキングクラブ

藤久保公民館で三芳ハイキングクラブの「山と山の花の写真展」が開催中です。写真展の様子が、ケーブルテレビJ・COMチャンネル「ホームタウン東上」で放送されます。放映は2月12日〜25日(平日午前11時、午後5時、夜8時、土曜午前9時午後2時、夜7時、日曜午前7時半、午後12時、夕6時)

●福祉喫茶ハーモニー、メニューに日替わりランチ登場

三芳町役場庁舎6階の「福祉喫茶ハーモニー」では、2月15日から日替わりランチが登場します。



是非お越し下さい